

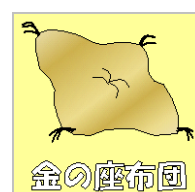
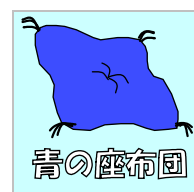
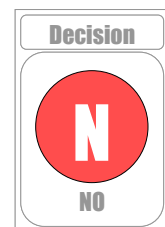
あなたはどっち？

クロスロードゲームについて

災害時にはとっさの判断を求められる場面が多々あります。その判断には必ずしも“正解”があるとは限りません。クロスロードゲームをとおして、様々な判断や価値観に触れて防災への視野を広げましょう。ここでは自主防災組織としてクロスロードゲームを実施する手順等を紹介します。

0. ゲームで使用するもの

- ・ YES カード・ NO カード … 参加者につき 1 枚ずつ
- ・ 「青の座布団」カード … 参加者×問題数分
- ・ 「金の座布団」カード … グループ数×問題数分
- ・ ポストイット（意見が書ける紙があれば OK） … 参加者×問題数分
- ・ 筆記用具 … 参加者につき 1 つずつ
- ・ 発表用紙 … グループ数分



1. ゲームの準備

- ①：参加者の中で奇数人数のグループを作れるように会場レイアウトを整える（5人や7人が望ましい）
- ②：グループ毎に YES カード・ NO カード、ポストイットを配る
- ③：グループ毎に発表用紙、「青の座布団」カード及び「金の座布団」カードを適当数グループに配る

2. ゲームの手順

- ①：各グループに代表者を決めさせる。（少し時間をとって話合わせる）
- ②：パワーポイントで質問を前に出す。 or 進行役が質問を読み上げる（2回）
- ③：（一定時間与えてから）参加者は質問に対して YES カードか NO カードを裏に向けて前に出す
- ④：参加者は YES or NO の判断根拠をポストイットに手短かに記入する（約 1 分）
- ⑤：進行役の合図で、参加者は一斉に YES・NO カードを表に向ける

⑥：グループの中で多数派の人は「青の座布団」を1枚とる（少数派の人は座布団カードなし）

※ただし少数派が一人の場合は、その一人が「金の座布団」を1枚とる（多数派の人は座布団カードなし）

⑦：グループ内で YES・NO の判断根拠を代表者から順番に発表・説明する

⑧：指名された班の代表者は班で出た意見を発表する

⑨：次の質問に移る（①～⑧を質問毎に繰り返す）



3.ゲームのこつ

①：参加者には反対意見を否定しないよう促す（正解はないから）

②：多数派の意見ばかりにならないように、むしろ少数派の意見を尊重する

③：正解はなく多種多様な考えがあることを知ることが大切

④：自分で考えて「ジレンマ」に向き合うことで、災害を我が事として意識させる



話し合いを通じて、地域の
つながりも深まりますね！



市では、クロスロードを実施するためのキッドの貸出しを行っています。
詳しくは下記担当まで、ご連絡ください。

担当 西宮市地域防災支援課

TEL 0798-35-3092